

《研究だより》



## 「自己を知り、高め合う子」

を目指して no. 1

2022年7月20日  
町田市立南第一小学校  
校長 安東 深雪  
研究主任 橋本 陽子

1学期も今日で終了します。今学期は、「1年生を迎える会」や「長なわ週間」など様々な行事がありましたが、子供たちはそれぞれの学年や学級の仲間と力を合わせ、仲良く活動に取り組みました。

本校では、今年度より、町田市のキャリア教育研究指定校として研究を進めていくことになりました。これまで本校が実施してきた様々な教育活動は、子供たちが成長し、自立していくために必要なことを、順を追って学べるように教育課程が組まれています。それらを改めて「キャリア教育」の視点で見直し、それぞれの教科の学習や特別活動と結び付けながら、より効果的な学習方法を研究していくことを目指しています。そして、小学校を卒業する頃には、「自分は〇〇が得意だから、これからも努力を続け、将来に生かしていきたい」と自分のよさを見つめて、未来を思い描けるような子供たちに育てていきたいと考えています。

1学期は、校内研究の始めとして、3人の講師の先生に講義をしていただきました。どの研修会でも、メモを取ったり、グループワークを行ったりしながら「本校らしいキャリア教育」を見付けようと切磋琢磨する教員の姿がありました。2学期は、研究授業も実施して、実践力を付けていきたいと考えています。

明日からは、夏休みです。長いお休みを上手に使って、お子様が自分の得意なことを見付けたり、生かしたりできる機会をつくってください。「夏休みわくわくスクール」への御参加もお待ちしています。

### ～1学期の校内研究～

5月12日（木） 町田市のキャリア教育

講師：町田市教育委員会 末原 久志 指導主事  
小松 千草 指導主事

急激な社会変化が予想される中で、社会的自立に向けて、今まで以上に生き方や働き方にしっかりした考え方をもつことが求められていることから、小学校でも発達段階に応じたキャリア教育を実施し、小・中学校全体でキャリア教育を推進していく重要性を学びました。

6月16日（木） 児童の主体的な学びに向けて

講師：白百合女子大学 中田 正弘 教授

キャリア教育を実践していく上では、「新しいものを生み出す・創り出す」のではなく、キャリア教育を視点に、教育内容・活動を捉えなおすことが大切だと学びました。グループワークでは、主体的・探求的に学ぶための授業計画や支援の仕方を教えていただきました。

6月27日（月） 南一小の目指すキャリア教育

講師：上越教育大学 山田 智之 教授

「子供の将来の職業を思い描くことだけでなく、大人になるために学ぶべきもの全てがキャリア教育である」と聞き、教育活動の全てがキャリア教育に結び付いていることを再認識しました。教科の学習や学級活動を通して培った力を行事や特別活動で生かしていくための指導を確立させ、「南一スタンダード」としていくとよいことを学びました。



6月16日（木） 校内研究研修会の様子